

# よーいドン！となりの人間国宝さん「高の原」

令和3年(2021)9月30日・10月1日放送

奈良県と京都府の県境に位置する近鉄京都線・高の原駅が作られた昭和40年代は山に囲まれたのどかな光景が広がっていましたが、平城・相楽ニュータウンとして大規模な開発が進められ、環境に恵まれた住みよい街になっています。(右 開発当初の写真)

今回「高の原」周辺を紹介されました。

## 喉禽荘(れいきんそう) 奈良市山陵町

日本画家の巨匠・上村淳之邸

「瑞鳥の鳴く家」の意味で父上村松篁さんが名付けられました

1万坪の敷地に1000羽の鳥を飼う

引っ越してきた当時は山の中で、自分でライフラインを引いて建てられた。

今では、家が増えてきた。

描きたい鳥は、世話をして描く

画材として70種・1000羽の鳥を専門の飼育員によって管理されている。

かつては270種・3000羽の鳥を飼育していた。

祖母・松園：美人画 女性として初の文化勲章受章 父・松篁

上村家三代の作品を専門で展示する【松伯美術館】(近畿日本鉄道基金)

## 新風堂書店 1975年創業

絵本・児童書・教育書ばかりをラインナップ

パーソナルブッククラブ(本代のみ+送料)

1人1人の趣味嗜好に合わせて希望の予算で毎月本を選んで送付してくれる。

人間国宝さんに認定

他



昭和47年(1972)高の原仮駅

写真：西城浩志氏



令和元年(2019) 上村淳之宅(喉禽荘の一部)